

テーマ **宇迦橋の景観について考える①** デザインコンセプト

宇迦橋やその周辺の歴史、景観の特性について学び、今後の景観検討に向けたコンセプト(基本方針)を話し合います。

■日時：平成29年5月24日(水) 19:00～21:00

■場所：出雲商工会3階大会議室 (〒699-0711 出雲市大社町杵築南 1344) ■申し込み：不要

■問い合わせ：島根県出雲県土整備事務所都市整備課(担当: 秋月) ☎0853-30-5667

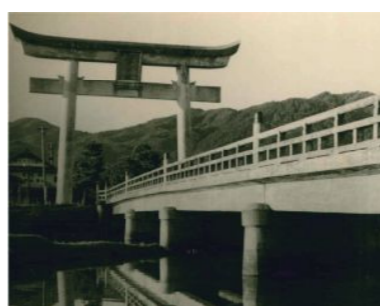
たくさんのご参加をお待ちしております!

宇迦橋の歴史

- 1912年(明治45年) 大社駅開業
- 1913年(大正2年) 大社駅からの参詣道「大社停車場線」入札
- 1914年(大正3年) **初代宇迦橋(木橋)完成**
- 1915年(大正4年) 大鳥居完成
- 1937年(昭和12年) **現在の宇迦橋(コンクリート橋)完成**
- 1984年(昭和59年) 大鳥居交差点に信号設置
- 1990年(平成2年) 大鳥居の改修(大鳥居が白く塗装される)
- 2017年(平成29年) 架橋から80年



建設直後の宇迦橋



昭和30年代以前の宇迦橋と大鳥居

宇迦山にちなんで命名

宇迦橋の南詰にある石碑には、当時の橋の名付け親である島根県知事 高岡直吉の思いが以下のように刻まれています。

「この橋を宇迦と命名するのは、かつてその山の下に、オオクニヌシが宮殿を構えた、いわゆる出雲朝廷があった場所、いま出雲大社がある、宇迦山にちなむのである。参詣者の人々よ、この橋の名は、単なる思いつきではなく、かかる深いゆかりに基づくことに思いをはせてもらいたい」



出雲県土整備事務所 都市整備課 からのメッセージ

第1回ワークショップが開催され、いよいよ2工区の道づくりがスタートしました。これからどんな「ミチ」を地域の皆さまと一緒に「カタチ」にしていけるのか楽しみです。1工区ではテーマが「祈りの道、そして出会いの道」でした。2工区はどんな「道」にしていきましょう? そのためのご意見を残り4回のワークショップにてお寄せいただき、皆さまと議論していきたいと思っております。先人たちがそうであったように、我々も「これまでも・これからも愛される神門通り」の思いのもと、子や孫の代にまで誇れる道づくりに道路事業者として携われることに縁を感じながら。。。

さて、春の定期人事異動で出雲県土整備事務所 都市整備課でも職員の入替わりがありました。このメンバーでがんばりますので、今後ともよろしくお願いたします。(秋)



島根県出雲県土整備事務所 都市整備課 〒693-8511 島根県出雲市大津町1139 TEL:0853-30-5667 FAX:0853-30-5675

神門通り線2工区ワークショップ

ニューズレター

2号

平成29年4月20日

第1回ワークショップを開催しました!

議題 「神門通り線2工区の道づくりについて考える」

平成29年3月6日に、出雲商工会で第1回ワークショップを開催し、約90名の方にご参加いただきました。意見交換会では、2枚の模造紙がみなさんの意見を書いた計116枚もの付箋でいっぱいになりました!

ワークショップの内容

- ①ワークショップの目的や実施体制の説明
総合コーディネーター 桑子教授(東京工業大学大学院)
- ②事業の概要や道づくりの案の説明
島根県出雲県土整備事務所
- ③交通検討部会における検討経緯の説明
交通アドバイザー 橋本准教授(岡山大学大学院)
- ④道づくりについての意見交換

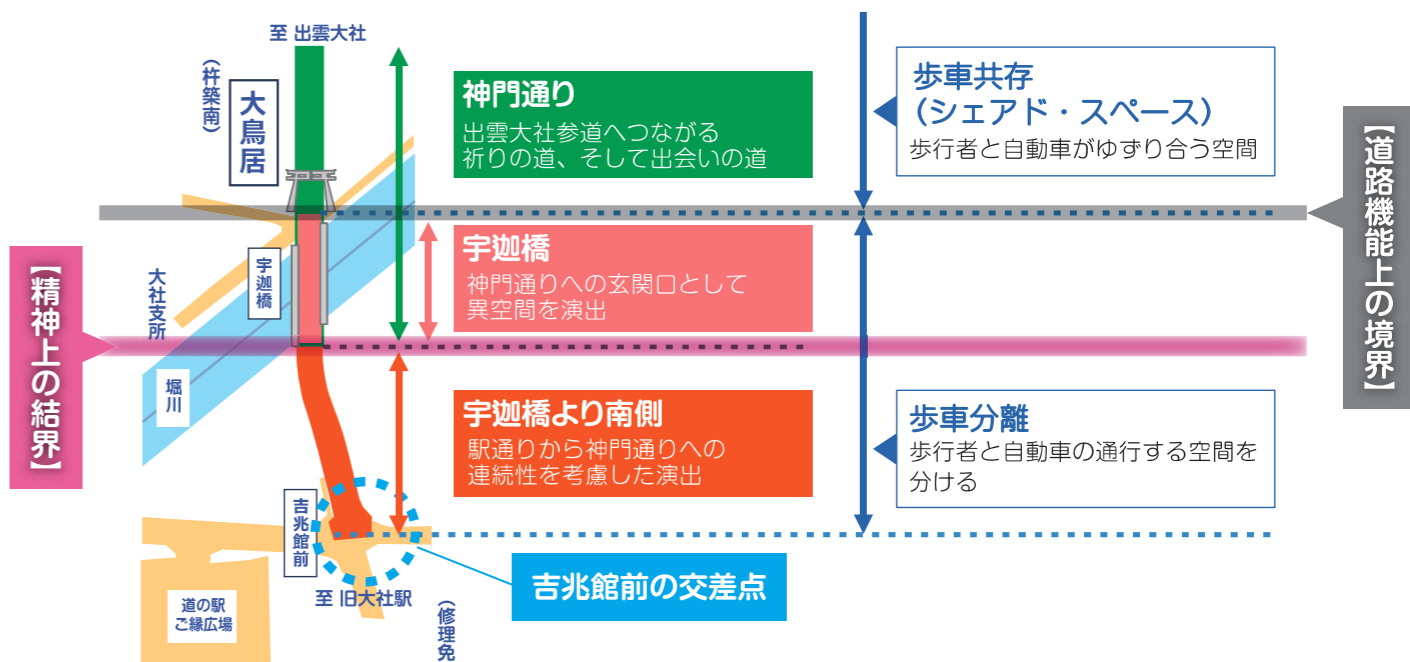


歴史を踏まえた2工区の位置づけと考え方

県からの説明

宇迦橋は川に対して斜めにかかけられ、出雲大社の参道から直線に伸びる道路の延長線に沿って架けられています。当時の島根県知事 高岡直吉は、大社駅開業と直線道路の整備をきっかけに「神域」を広げ、宇迦橋をその起点と位置付ける意識があったとみられます。このことから、宇迦橋の南詰を「精神上的結界」とし、宇迦橋は神門通りへの玄関口として異空間を演出します。

また、大鳥居交差点より南は、東西の市道からの生活車両の流入により交通量が多く、通学路、緊急車両の通行ルートとしての位置づけもあることから、大鳥居交差点を「道路機能上の境界」とし、大鳥居交差点から南は歩行者と自動車の通行する空間を分ける「歩車分離」の道路とします。

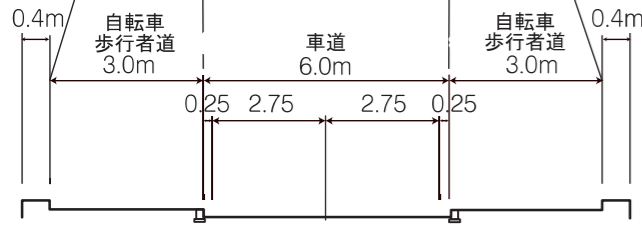


① 宇迦橋の検討案

現在

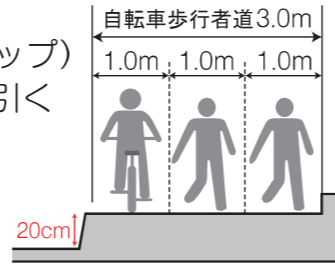


検討案



道の構造について

- 自転車歩行者道を 3.0m に拡幅
- 車道の幅員は変わらない
- 歩行者と自動車を完全に分けて安全性を高める必要があることから、車道と自転車歩行者道の間に段差を設ける (現行と同じマウンドアップ)
- 宇迦橋の上は中央線を引く



歩行者の安全性を高めるための20cmの段差

舗装について

- 宇迦橋の上は、石畳舗装を検討する (石畳舗装にした場合、橋の中心の高さが今よりおよそ 10cm 高くなる)
- 中央線や外側線などのラインも石材の活用を検討

いただいたご意見

意見: 自転車の通行レーンを歩行者と分けてほしい。

回答: 自転車の専用レーンをつくるためには最低2mの幅が必要ですが、都市計画で決められた12mの幅の中で検討した場合、歩行者が歩くスペースが狭くなってしまいます。このため3mの幅の中で、歩行者と自転車が安全に通行していただくようになります。

意見: 歩道と車道の境に防護柵を設置できませんか？

回答: 防護柵を作ると、車はそれを避けようとして車道の中側を走るような意識がはたります。車同士がすれ違う際に危険なため、防護柵は設置せず段差を設けます。

意見: 歩道の途中を広くして、写真を撮影するためのバルコニーを作ることはできないか。

回答: 張り出しスペースを設けることは都市計画など手続き上の課題や、橋の構造上の課題も出てきます。景観への影響も含めて、今後検討していきます。

③ 吉兆館前の交差点の検討案

- 自転車歩行者道を 3.0m に拡幅
- 交通量に見合う十分な長さをもった直右と左折の 2レーンを確保
- 自動車による歩行者の巻き込み事故などを防ぐため、交差点には通常の高さの縁石ブロックを設置

いただいたご意見

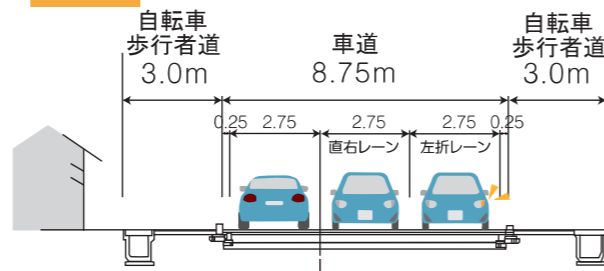
意見: 宇迦橋から南に向かうときに、右側のレーンで右折車があると直進車が後ろで詰まってしまうため、右折と直進を分けられないか。

回答: 直進車両・左折車両は約 1,300 台/日あるのに対して、右折車両は約 200 台/日と比較的少なくなっています。また、仮に左側のレーンを直進車とすると、南側の市道のレーンとずれが生じて危険であることから、現行と同じ直右と左折のレーンを検討しています。

現在



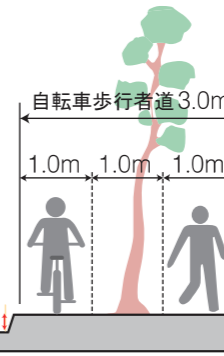
検討案



② 宇迦橋より南側の検討案

道の構造について

- 自転車歩行者道を 3.0m に拡幅
- 沿道の家屋への車の出入りが多いため、2cmの高さの低い縁石を設置
- 宇迦橋・神門通りへのアプローチ区間として前後との連続性を意識した景観を形成

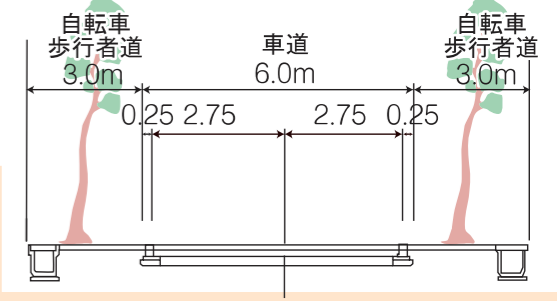


2cmの段差

松について

- 沿道の松は、今の位置で保存することを基本とし、樹木医の指導を受けながら、松の樹勢を保つ対策をほどこす
- 道路の計画上、どうしても支障になる松は別の位置への移植を検討

検討案



いただいたご意見

意見: 松の木が歩道の真ん中に残ると、歩きにくい不是吗。

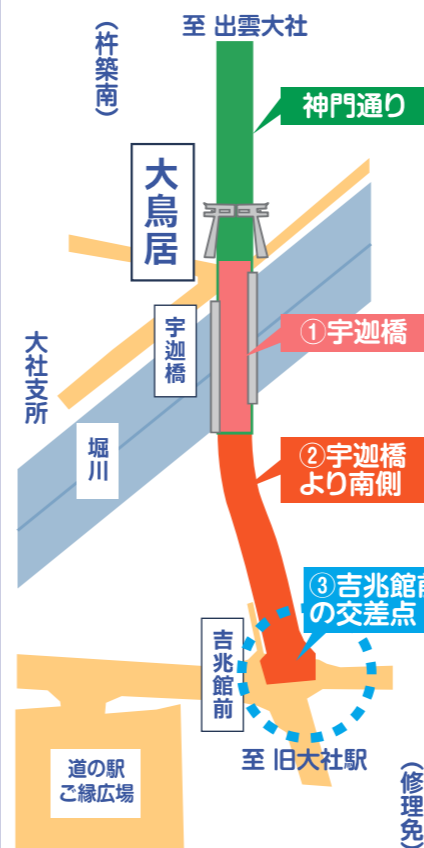
回答: 歴史的にも価値のある松は保存を基本に検討します。歩道の幅は3mに広がるため、松の両側で歩くスペースが確保されます。

意見: 宇迦橋から南側は、夜にかなり暗いのではないですか。

回答: 道路照明を設置することを検討します。照明のデザインについては、今後のワークショップで検討します。

その他にも、たくさんのご意見をいただきました。次回以降のワークショップ議論への参考にさせていただきます。

<位置図>



■大鳥居

- 大鳥居の幅に対する計画を説明してほしい。
- 大鳥居の景観を大切にしてほしい。
- 車のことを気にせず写真を撮れるスペースが欲しい。

■シンボル

- 橋の手前から一直線で見えるスケールの大きさを大事にしたい。
- 橋の南詰に、何かシンボルがほしい。

■宇迦橋北詰(大鳥居下)交差点

- 宇迦橋北詰(大鳥居下)交差点の横断歩道が渡りにくい。赤信号が少し長い。
- 北詰交差点の四叉路化をしては？

■休憩スペース

- 橋から南詰のところちょっとした広場を設け説明板を置く。休憩スペースを設ける。
- 足湯のポケットパークがほしい。

■照明

- 夜になると暗いので明かりが欲しい。暖色がいい。

■愛着・住民重視

- 観光客より住民を重視した橋にしたい。誰のための橋なのか。
- 通学路なので安全なのはもちろん、子どもたちが大社を好きになれるような道にしたい。

■安全性

- 宇迦橋より南側は生活道路としての機能が大きく、安全対策に留意することが大切。
- 中央線などが石材になった場合、夜間に見えるのか不安。車のスピードを落とす工夫が必要ではないか。

■景観

- 橋は末永く使うことになるので見た目より質を重視してほしい。
- 縁石ブロックをおしゃれにしたい。
- 宇迦橋の手すりを茶とかグレーにすると大鳥居が目立つと思う。

■事業スケジュール

- H32年は東京オリンピック・パラリンピックもあるため、事業スケジュールを前倒してほしい。